

Ubuntu8における自動バックアップ体制の構築

佐古 貴行

2009/05/19

概要

Ubuntu8において新規にHDDを増設し、マウント、自動でバックアップを取る体制を構築する方法をまとめた。バックアップのソフトにはSimple Backupを用いた。

1 免責事項

この文書はLinux初心者が主に自分用のメモとしてまとめたものである。実際に作業してから時間が経って書いたものであり、また、既にUbuntu9へバージョンアップしており、下記の内容について詳細な検証はしていない。故に正確性は期待できない。

下記の内容を実際に実行した時に発生したいかなる事態に対しても筆者は一切関知しない。

2 下準備

以下の作業をする前にいくつか下準備を行う。基本的に必須のものではないが、10年以上windowsのGUIというぬるま湯に浸かってきた者が作業を楽に、もしくは視覚化する為に行ったものである。

2.1 nautilus-gksu のインストール

GUI上では一部のフォルダのファイルを操作できない。例えば/etc/.. や /usr/.. のファイルである。表示のみ可能で中身が書き換えられず不便(無論コマンドで普通に操作可能であるが)。その為、GUI上でこれらのファイルの操作を可能にするためnautilus-gksuをインストールする。

```
sudo apt-get install nautilus-gksu
```

これで任意のフォルダに対し、右クリック→「管理者として開く」によりファイルの表示のみならず、書き変えも加能となる。

ちなみに、このソフトを動かすためには再ログイン必須の様様。

2.2 GNOME Partition Editor のインストール

HDDのパーティションをGUIで確認できるようにするためGNOME Partition Editorをインストール。

```
sudo apt-get install gparted
```

「システム」→「システム管理」→「パーティション・エディタ」でGUI上でパーティションを確認できる。

3 HDDの増設

3.1 PCへの接続

PCにHDDを接続、認識させる。

3.2 フォーマット

HDDのフォーマットのため、デバイスがどのように認識されているかを確認する。

```
sudo fdisk -l
```

これで接続されているディスクを確認できる。以下の/dev/..以降がデバイス名となる。

```
ディスク /dev/デバイス名: ***** GB, ***** バイト
```

ここで増設したHDDのデバイス名を確認し、このデバイスに対しext3でフォーマットを行う

```
sudo mkfs.ext3 -c /dev/デバイス名
```

-cは不良セクタチェックのためのオプション。デバイス名は1台目ならsda,2台目ならsdb...といった感じになるが、筆者の環境ではなぜか逆転していた。謎。最初はこれに気付かず、OSの入っているsdbをフォーマットしようとしていた。このような事態を防ぐためにもGNOME Partition Editorを使うと良い。

3.3 マウント

HDDにマウントポイントを作成する。/media/..に他のデバイスも入っているのでここに適当なフォルダを作っておく。筆者の環境ではsdaと認識されているbackup用のHDDなので「sda-backup」としておいた。

次に設定を書き換える。/etc/..に入っているfstabというファイルが管理しているので、このファイルを開き(nautilus-gksuを使うと楽)

```
/dev/デバイス名 /media/マウントポイント ext3 defaults 0 0
```

という記述を加える。筆者の環境ではfstabの最後の行に

```
/dev/sda /media/sda-backup ext3 defaults 0 0
```

と書き加えた。このfstabの編集を怠るとマシンを起動する度に手作業でマウントせねばならず面倒。

3.4 確認

再起動して自動的にマウントされていればOK。

成功していればデスクトップに勝手にアイコンが表示される。

4 Simple Backup

4.1 Simple Backup のインストール

Simple Backup をインストールする。

```
sudo apt-get install sbackup
```

Simple Backup は自動的にバックアップしてくれるソフト。その間隔や範囲はユーザーが任意に指定できる。

4.2 Simple Backup の設定

「システム管理」→「バックアップの設定」から Simple Backup のプロパティを表示し、後は好きなように設定。

「出力先」には「デフォルトのバックアップ先を使う」ではなく、「バックアップ先を指定する」→「マウントポイント (筆者の場合には sda-backup)」を選んでおく。

4.3 確認

指定したスケジュール通りにバックアップがなされていれば終了。

参考文献

- [1] kaz, "JAM LOG : Ubuntu 7.10 : HDD を増設",
<http://jamlog.podzone.org/index.php?id=1006>
- [2] 吉田史, "Ubuntu Weekly Recipe : 第 4 回 Ubuntu のバックアップ (1) : SBackup によるバックアップ | gihyo.jp ... 技術評論社",
<http://gihyo.jp/admin/serial/01/ubuntu-recipe/0004>
- [3] "HDD 関連 (Ubuntu 8.10 編)",
http://www.k5.dion.ne.jp/~r-f/sicklylife/memo/i_use_ubuntu_810/hdd.html